



新年あけましておめでとうございます。皆様には、幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

国政では、景気回復優先内閣として、第92代・麻生内閣へと移り、「日本を明るく強い国にする」と決意を披瀝しました。しかし、百年に一度と言われる世界的な金融危機により、日本も瞬時にして大津波に襲われ、実体経済への影響も深刻化しています。「政局より政策」と言われる中、定額給付金、交付税1兆円、

郵政株の売却話と、どれも政策目的がはっきりしない事から迷走している実態を強く感じます。

この様な中で七尾市では、能登半島地震の復旧復興、そして8月に大雨が断続的に降り、転落死亡事故や床下浸水と冠水の対応に追われ、業者の指名停止も重なり対応しきれませんでした。

また市長選挙も行われ、今後10年間の新たな方向性を示す総合計画の策定が取り組まれました。

小中学校再編整備計画では、当面5校体制で中学校配置が示され、今年3月に小学校の配置が示される予定です。この事は中学校の論議と違う地域事情の視点から論議を呼ぶ事が予想されます。

私はこれらの事を含め、山積される市の諸問題や市民の皆様の負託に応える為、

今年も初心を忘れる事なく、襟を正して全力で頑張っ参ります。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



## = 平成20年第4回定例会 (H20.12.5~12.19) =

平成20年・第4回定例会は、平成20年12月5日～19日迄の15日間の会期で開催されました。

市長提案理由説明では、「第1次七尾市総合計画」基本構想で、今後10年間のまちづくり基本方針を定め、今後最大の課題である人口減少対策をはじめ、各種施策推進実現に向けた決意を示しました。

◆第一に、地域経済を活性化して、雇用の場、若者の就業の場を増やすとし、能越自動車道の建設促進を急ぎ七尾港と連携させる中で、企業誘致や七尾港をいかした水産基地。また伝統産業や農地の基盤整備、山林の間伐保全をしながら地域経済活性化を図るとしました。 ◆第2に、市民が主役のまちづくりを推進するとし、「まちづくり基本条例」を制定し住民参加と地域分権を一層推進する事の支援として、自主的に市民活動する市民団体に市民税の一部を支援し、協働のまちづくりをさらに進めるとしました。 ◆第3に、能登の未来を担う人づくりを推進するとし、青少年の教育充実や国際交流。また鹿北統合中学校建設や学校施設の耐震化に取り組むとしました。 ◆第4に、安全で安心な災害に強いまちづくりを推進するとし、自主防災組織を全町会で作る事や、乳幼児医療費の一層の軽減支援そして三世同居の推進や高齢者グループデイの設置を進めるとしました。

今議会では、一般質問に16名の議員が立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な議論が交わされました。私は12日に登壇し、市政全般について質問致しましたので、本議会の概ねを皆様にご報告いたします。



■今議会に提出された補正予算の主な歳出項目(市長提出議案第 86 号)

単位(千円)

事業	内容	補正予算	担当課
農林水産施設災害復旧	H20.8 月発生豪雨(道路、水路、農業用施設等)	42,348	農 林 課
担い手農地面的集積	事業経費支援(上畠営農生産組合・12ha)	4,340	農 林 課
文化振興事業補助	能登演劇堂ロングラン公演「マクベス」	7,600	文化振興課
体育施設整備事業	総合市民体育館屋根改修、城山野球場改修など	67,369	スポーツ振興
雇用促進住宅取得事業	雇用促進住宅購入費(市内全域7棟・18,578.51㎡)	161,943	総 務 課
地方バス対策事業	コミュニティバス(元気バス燃料費、車検費用等)	1,305	総 務 課
情報化推進費	ケーブルテレビ事業特別会計不足額	9,857	情報政策
私立保育所運営費	14 園分の入園児童増加(実績見込み1,424 人/月平均)	46,292	子育て支援
障害者自立支援法対策	支援体制拠点(あい.あい.あい.と多目的会議室整備)	4,656	福 祉 課
生活支援緊急対策事業	低所得世帯生活支援(生活保護世帯、75 歳以上世帯等)	8,804	福 祉 課

■補正額、3億955万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ281億6682万円としました。

【議会質問】

※今議会の一般質問は、12月 11~12 日の2日間にわたり行われました。

[第 1 回(3月)定例議会と第 3 回(9月)定例議会は、代表質問(会派)と一般質問が行われます。]

子育て支援と看護師の配置の必要性について



**質問**・乳幼児医療の無料、夜間や病気の子ども保育への支援はどの様に取り組むのか。また、保育園への看護師配置の必要性をどの様に考えるのか伺う。



**市長答弁**・一番病気にかかりやすい0~3歳までの養育家庭の負担を軽減する為、21年度にとり組む予定である。夜間保育園や病気の子供の保育への支援は実施中であり、県内でも先進的な取り組みである。

看護師の配置については、市内で公立保育園13園の内3園、法人立保育園14園の内13園で配置している。児童福祉法上では0歳が9名以上入所している保育園に看護師の配置が義務付けされている。

該当保育園は公立3園、法人立10園で有り、法人立ではこの他3園が自主的に配置している。重要な施策である事は十分認識しているが、看護師が配置されていない小規模の公立保育園では、専任の看護師を置かず巡回して対応したい。

すでに看護師が配置済みの法人立保育園については、国庫補助対象となる5園に対して配置費用に対する補助を行なっているが、今後小規模の保育園に対しても検討する。

新型インフルエンザによる「感染爆発」と七尾市の危機管理



**質問**・新型インフルエンザは通常のインフルエンザと比べ、ほとんどの人が全く免疫を持っていない為、感染率が極めて高く「感染爆発」が起った場合に、大勢の人が短期間に感染すると言う。厚生労働省は、新型インフルエンザウイルスによる「感染爆発」が日本に起きた場合、最悪、国民の 25%、3200 万人が感染し 64 万人が死亡すると推定している。市でも、新型インフルエンザに対する事前の対策や取り組みと言った危機管理が必要であると思うが見解を伺う。

**再質問**・総合的な危機管理計画策定の取り組みが急がれるがどうか。



**市長答弁**・・・感染拡大の為の体制づくりが大変大事であり、市もこう言った事への体制を取らなければならない。今、県の方で策定中である行動計画に基づいて、それと同時に市の危機管理体制も進めていく。

**市長再答弁**・・・危機管理の対応や備えをしておかなければならない。

総合的な観点からその必要性を認識している。平成21年早々に対応して行く。

## 七尾市における振り込め詐欺の現状と防止策について



**質問**・・・市としての防止策や、市内における詐欺の手口や推移の状況。

市の施設での危険場所と対応策について伺う。

**総務部長答弁**・・・七尾警察管内の被害状況は、平成18年は11件で約860万円、平成19年6件約850万円、本年11月末現在で8件約1,400万円の被害と伸びてきている。手口は“オレオレ詐欺”、“還付金詐欺”、“エクスパック詐欺”等、新たな手口が現れている。防止策は七尾警察署、金融機関、防犯ボランティア等各種団体と連携し、一丸となって市民が被害に遭わないよう被害根絶を目指す。

市の施設では、パトリア内で無人のATMが設置されており、危険箇所と認識している。市内に置いても屋外型の無人ATMが設置されており危険箇所と認識している。振り込め詐欺被害“0”を目指す。

## 第23回全国健康福祉祭いしかわ大会（ねんりんピック石川 2010）



**質問**・・・観客を含めると延べ50万人の参加が見込まれ、七尾市はサッカー会場が予定されている。

① このイベントを最大限活用して、観客を呼び込み七尾市にとって意義のある大会にしなければならない。その為の事前的な営業力や仕掛けづくりが問われるがその戦略を伺う。

② グラウンド整備や大会に向けたスケジュールや環境整備はどの様になっているのか伺う。

**健康福祉部長答弁**・・・サッカー競技の他に、健康教室、特産を活用したおもてなしや関係業者で観光物産PR、土産品販売も予定し、リピーターとなる様に魅力ある大会にしたい。庁内の関係各課と連携を図り、市民参加をお願いしながら準備を進め、市の広報やホームページに掲載し、市民への周知を図る。

来年5月頃に実行委員会を立ち上げ、リハーサル大会実施や北海道大会の視察等を予定している。

当市の試合会場は3会場を予定し、グラウンド整備については所管課と連携をとり、県、金沢市、七尾市の各サッカー協会と競技し、来年度より本大会に向けた準備を進める。

## 除雪態勢と新たな体制づくりと取り組みについて



**質問**・・・今年は協力業者の数も減り、指名停止期間中の方々もいる中で、除雪態勢は万全か。新たな視点の体制づくりが必要だと思うが、考えと取り組みを伺う。

**建設部長答弁**・・・今年は54社で除雪区間を調整し、万全の態勢で取り組む。

これまでは建設業協会であったが、これからは管工事組合も交えて協議出来る組織づくりが必要と考える。課題としては、オペレーター不足や高齢化による担い手不足、除雪に係る維持修繕費や車検等の経費増が考えられる。そこで、従来は除雪機械の稼動に対する除雪費の支払いであったが、今年度からは除雪作業の有無に関わらず、委託業者には管理費として固定費を新たに支給する事にした。

地域住民、除雪業者との協働も視野に入れながら、市民の安心安全の為の除雪事業に取り組む。

# ケーブルテレビななお 加入状況

■ 七尾市のケーブルテレビ事業は、昨年の9月末で平成20年度加入促進期間が終わり、市内の協同アンテナ組合などの申し込みも一応の区切りが付きました。

ひき続き加入申し込みを受け付けていますが、ひとまずその加入状況を報告致します。

地区名	国調世帯	加入世帯	加入率	地区名	国調世帯	加入世帯	加入率
袖ヶ江	1,209	98	8.1%	御 祓	1,458	132	9.1%
徳 田	1,848	540	29.2%	矢 田 郷	4,833	208	4.3%
東 湊	1,298	261	20.1%	西 湊	1,535	258	16.8%
石 崎	1,342	83	6.2%	和 倉	1,472	79	5.4%
南大呑	367	344	93.7%	北大呑	387	384	99.2%
崎 山	407	378	92.9%	高 階	404	304	75.2%
田 鶴 浜	1,148	634	55.2%	相 馬	303	263	86.8%
金ヶ崎	297	209	70.4%	西 岸	339	226	66.7%
鉦 打	333	327	98.2%	熊 木	449	333	74.2%
中 島	362	218	60.2%	豊 川	383	291	76%
笠 師 保	291	203	69.8%	能 登 島	937	1,014	108.2%
(※平成20年12月1日現在)				総 計	21,402	6,787	31.7%

## ニ ケーブルテレビの必要性を考える ニ

- ▼ 採算ベース(損益分岐点)は加入者数10,000戸(47%)で年間3億円(見込み)です。しかしこの数字は経常経費(毎年決まって出る費用)のみで有り、その他の経費は含まれていません。
  - ▼ この事から今の時点でかなりの損失が予想され、このままでは運営に皆さんの税金を投入する事が予想されます。 ▼ケーブルテレビは、七尾のまちづくりを進める上で大変重要な『情報の共有』で有り、皆さんの『地域の情報』や『行政の情報』、またいつ来るか分からない『災害情報』についても必要不可欠であり、毎日の生活の安心安全に繋がるものと考えます。
- 皆さんは、ケーブルテレビの必要性についてどの様にお考えでしょうか？**

今回、私の議会質問は「0-カ・マニフェストの有り方と評価・検証」「まちづくり基本条例と総合計画との位置づけと取り組み」「市民税の1%をNPO市民活動支援する事」「子育て支援と看護師の配置の必要性」「新型インフルエンザによる感染爆発と七尾市の危機管理」「七尾市における振り込め詐欺の現状と防止策」「第21回全国健康福祉祭石川大会(ねんりんピック石川 2010)」「除雪態勢と新たな体制づくりと取り組み」8点18項目について質問致しましたのでご報告致します。詳しい内容は市のホームページや平成20年第4回議会議事録等でご覧下さい。

**※新年の『年賀状によるご挨拶』は、『公職選挙法』の規定に**

**基づき、遠慮させていただきましたのでご了承願います。**